

busworld®

EUROPE BRUSSELS



Busworld2023レポート③
小型EV、自動運転EVバス編、

株式会社東京アールアンドデー

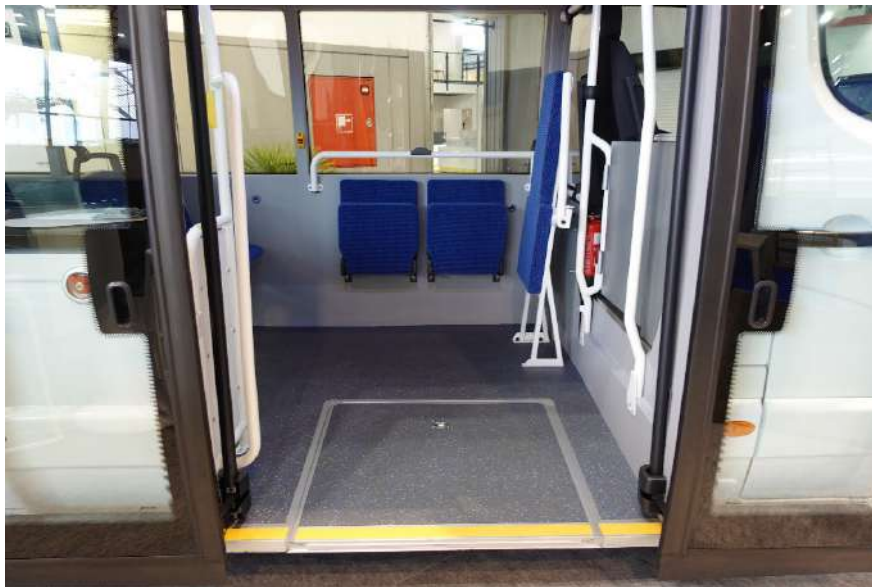


TOKYO R&D



「eDAYLYベアシャシ」

「eDAYLY」とそのベアシャシを展示。
「eDAYLY」は、7.6mのボディに23人乗り、
140kWのモーターに111kWh(合計3
パック)のバッテリーを搭載し、
AC22kW/DC80kWの充電に対応する。
ベアシャシは、バッテリー、モーター等
機器の配列が良くわかる。
パワーユニットはFTP製だ。
IVECOは、路線EVバス2台、FCEVバス
など合計5台のEVバス等を出展。



RENAULTグループの架装メーカーPVi。
RENAULTの商用バン「MASTER」を改造
したローエントリーの6.2m「OREOS
M20」を出展。乗車定員は最大20人。
57kWのモーターに52kWhのバッテ
リーを搭載。22kWの充電で最大
150kmの走行が可能。



かつてはMercedes Benzファミリーの一員であったこのミニバス製造会社。屋外展示され、Mercedes Benz「Sprinter」をベースに改造された7.4mの「City 45 ELECTRIC」。最大22人乗りの2ドアモデル。150kWのモーターに115kWhのバッテリーを搭載し、最大300kmの走行が可能。充電は、AC13.2kW/DC120kWに対応。



IVECO DAYLYベースの「e-CITY」。ワールドプレミアした。イギリスなので右ハンドルのローエントリーモデル。運転席から後ろのボディは完全にオリジナル製作されている27人乗り。108kWhのバッテリーに120kWの急速充電が可能。



「ELEGANCE」



「ACCESSIBILE」



「ACCESSIBILE内装」

IVECO DAYLYベースで小型とは言えない8.7mの「ACCESSIBILE」33人乗りとMercedes Benz Sprinterベースの7.3mの「ELEGANCE」17人乗りを出展。いずれも115kWhバッテリーにElinta製のドライブトレインを搭載している。



FORD E-TRANSITベースの13人乗りの「CARES」。430Nmのモーターに75kWhのバッテリーを搭載。115kWの急速充電に対応。317kmの航続距離を持つ。8年または16万kmのバッテリーの保証が付く。



「eURBRN」



「eSHUTTLE」



「eURBRN内装」

22又は23人乗りの「eURBRN」と21又は14人乗りの「eSHUTTLE」を出展。
「eURBRN」は、7.5mに195kWのモーター、140kWhのバッテリーを搭載し250kmの航続距離を持つ。
「eSHUTTLE」は、7.5mに120kWのモーターに120kWhのバッテリーパックを搭載し200kmの航続距離を持つ。
日産の旧バルセロナ工場で製作される。



Volkswagen「E-Crafter」ベースのロー
エントリー「E-CIVITAS」出展。6.8mに
Volkswagen製100kWのモーターに35,8
kWhバッテリーを搭載し、115 km
(WLTP)の航続距離を持つ。



「MULTILINE」



「CITYLINE LW」



「MULTILINE内装」

Mercedes Benz Sprinterをベースに、「CITYLINE LW」と「MULTILINE」の2台を出展。「CITYLINE LW」は、7.7mに最大22人乗りで、150kWのモーターと115kWhのバッテリーを搭載し、270kmの航続距離を持つ。

「MULTILINE」は、7.3mに最大19人乗りで、150kWのモーターと115kWhのバッテリーを搭載し、270kmの航続距離を持つ。いずれもバッテリーは5年又は20万kmの保証が付く。



「MiniCity」



「SmileX」



「MiniCity乗降口」

Mercedes Benz Sprinterをベースにした8mの「MiniCity」とIVECO DAYLYをベースとした8.3mの「SmileX」の2台を出展。「MiniCity」は、最大22人乗りで、200kWのモーターに最大140kWhのバッテリーを搭載。最大300kmの航続距離を持つ。「SmileX」は、最大29人乗りで、200kWのモーターに最大140kWhのバッテリーを搭載。最大300kmの航続距離を持つ。



「IVECO Urby」。7.5mクラスで最大40人乗り。EV、ディーゼル、CNGを選択できるという。展示車はCNGであった。EVの詳細は不明。



Mercedes Benz Sprinterをベースに「ELECTRIFY ESPRINTER」を出展。20人乗りで、85kWのモーターに最大110kWhのバッテリーを搭載。最大300kmの航続距離を持つ。急速充電は80kWに対応。他に同タイプでFCEVもラインナップする。



屋外の展示場での展示。展示の立会員等もいなかったなので、性能等のスペックは不明だが、EVシャトルバスとしてレンタル等やっている会社からの出展の様である。車イスでの乗車も可能で8~14人程度の定員のEVシャトルバスである。全面がガラスと言うのも特徴である。



Mercedes Benzのe-Vitoをベースにボンネットから後ろを専用で製作した「E-SOLAR CITY XL」。最大40人が乗れる。バッテリー容量は111kWhで航続距離は200km。他にベース車として、Mercedes Benz EQVやIVECO eDAILYなども選択できる。ボンネットから前が変わる。また、ホイールベースの長さも選択できる。KBUSは、日本にも以前クセニッツ名で輸入されていた。



Mercedes BenzのSprinterをベースに、
113kWhのバッテリーを搭載し
400km(WLTP)の航続距離を持つ。定
員は仕様により21人から30人。内装な
どのカスタマイズにも応じる。

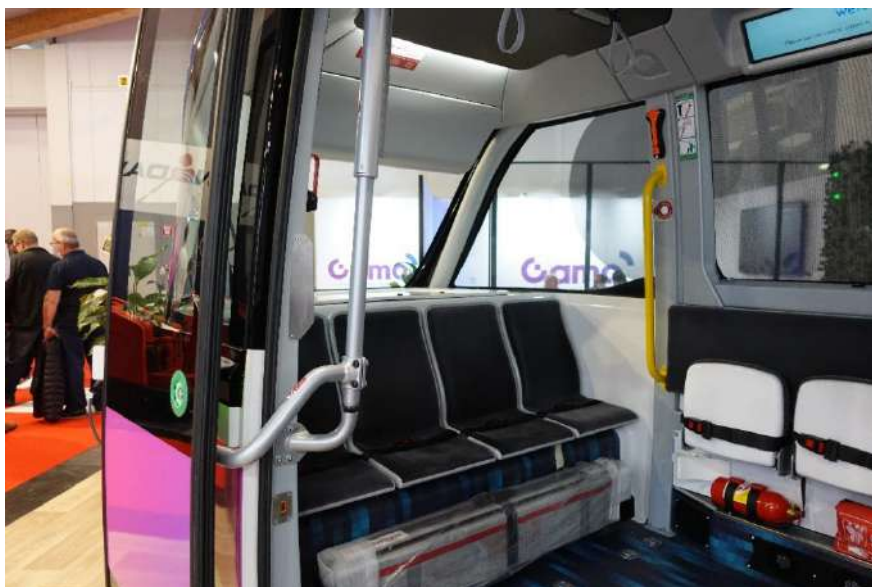
自動運転 Autonomous



8mクラスの「AUTONOMOUS e-ATAK」を出展。TM4の230kWのモーターに220kWhのバッテリーを搭載する。レベル4の自動運転に対応する。KARSANは他にも路線、FCEVも出展している。



「e-CENTRO C」の自動運転仕様。路線バス編のレポートで紹介した車両の自動運転モデル。140kWのモーターに110kWhのバッテリーを搭載。レベル4に対応している。屋外で自動運転のデモをしていた。OtoKarlは他にも自動運転の無い標準の「e-CENTRO C」と観光タイプのEVを出展していた。



Gaussin Macnica Mobility (旧NAVYA) は日本のマクニカが出資する会社。出展されていたのは「ARMA」。4.7mで最大15人(公道と私道で異なる)に25kWのモーターに33kWhのバッテリーを搭載する。最高速度は25km/hで2D、3DLiDARを搭載し、レベル3とレベル4に対応する。既に200台以上が販売されている。

あとがき

- ・本内容は、説明パネル、ヒアリング等をもとに作成したもので、情報に間違いがある場合など責任は負いかねます。
- ・一部の写真については、バスワールド主催者公表の写真を使用しています。
- ・本資料の無断転載等は禁止させていただきます。
- ・各社ロゴマークは、各社ホームページより引用したものです。
- ・本資料の情報を通じて、皆様の開発のお手伝いに貢献できれば幸いです。

お問い合わせ先: 株式会社東京アールアンドデー営業部
担当: 森竹 moritake.tomonori@tr-d.co.jp
住所: 神奈川県厚木市愛甲東1-25-12
電話: 046-227-1101
HP: <https://www.tr-d.co.jp/>